

♪♪ 令和2年度早川南小学校だより ♪♪

はるき



令和3年2月26日

No.37

校長 河西 弘明

児童総会…まとめと引継ぎ！



今週水曜日の3校時に第2回児童総会が行われ、児童全員が参加しました。今回は、今年の活動の振り返りと、新しい児童会本部役員への引継ぎの大切な会でした。

コロナ禍の臨時休校により、約2カ月遅れて始まった児童会活動ですが、本部役員のみならず最上級生である6年生が、学校生活のさまざまな場面においてリードしてくれました。その態度を見て、下級生たちは知らず知らずのうちに、6年生になったら、役員になったらという姿を学んだことと思います。

どの学年も、本部や委員会の活動の反省に対してしっかりと話し合ってきており、次々と手を挙げて意見を言いました。その姿を見た教頭先生も、話し合いの仕方についてほめてくださり、「今年の成果と、もう少しだった課題を来年の活動に生かしていくことで、より良い南小にしていきたいと思います。」と、講評してくださいました。

今年の児童会の活動は様々なものがあつたのですが、私が個人的に好きな活動は「お誕生日放送」でした。小さな学校の本校だからこそできる取り組みで、児童も職員も自分の誕生日には主役になり、生放送のインタビューを受けます。放送後には、全校から祝福の拍手をもらえます。実際にしてもらえないと、その感動はなかなか味わえないものです。子どもたちや先生の普段は知らない一面が見えて、そこからまた会話が始まり、仲良くなれる素敵なイベントだと思います。

いつもの年のようにではできなかったものもありましたが、一人ひとりがそれぞれの役割の中で活躍し、スローガンの『あいさつ・笑顔・やさしさがあふれる学校をめざそう』は、十分に達成できたのではないのでしょうか！



「より良い学校にしてください」と引継がれました！→



山村留学連絡協議会議に参加して…



山村留学に関係する方々が、年3回（今年はコロナ禍のため2回）町民会館に集まって、早川町の山村留学に関する内容を話し合う会議が先週ありました。町内3校の取り組みや、町教育委員会や上流圏研究所が行っている、制度を活性化させるための施策などについて、様々な面から意見が出されました。

その中で、本校に関する事について少し書かせていただきます。それは、再来年からの急激な児童数の減少についてです。今年、21名だった児童数は、来年度は17名に、再来年度は13名にと…。これは、現在できている教育活動の見直しもせざるを得ない状況になってくることが予想され、学校としては真剣に考えていかなくてはならない事柄です。山村留学制度は、やはり北小が児童数が減り4名の全校児童数になった時に、学校存続に向けて平成24年に始まったそうです。その甲斐あって、今年北小は、当時の4倍以上の児童が在籍しています。コロナ禍の影響が色濃くて、本校の見学者は今年は2軒でした。PTAでも話題にさせていただきましたが、これからの対策に知恵を絞る時なのかもしれません。

